

Sennan Stories #2

山本市長と語る泉南市のあれこれ

泉南市にお住まいの羽原さんは、地元でカフェを営みながら中学3年生のお子さんの子育てに取り組む日々を過ごしています。そんな羽原さんに、泉南市での暮らしや子育て、地域活動について山本市長がお話を伺いました。

夢を持てる子どもが増えるような街づくり

市長：羽原さんは泉南市のご出身ですか？
羽原：生まれは違いますが、3歳からずっと泉南です。
市長：ご主人も泉南ですか？
羽原：はい、同級生で同じ中学校でした。お互いの実家も泉南なので、本当に地元です。
市長：お子さんは何歳ですか？
羽原：中学3年生の女の子が1人いて、受験中です。
市長：大変じゃないですか？
羽原：大変ですね。でも最終的には本人が行きたい学校を選んでほしいと思っています。
市長：子育てをする中で泉南市はどう感じていますか？
羽原：外国から先生（外国語指導助手/ALT）が来ているのは魅力的ですね。娘のクラスにも外国の先生がいて、毎日楽しいと聞きます。
市長：英語で話したりするんですか？
羽原：日本語です（笑）。娘が英語を学びたいと言って

新しいつながりが生まれる場所

市長：お子さんが小さいとき、よく「ひだまり」を利用されていたそうですね。
羽原：はい、たくさん活用しました。本当にいい場所で、大人にも子どもにも良い場所だと思います。
市長：先生たちもいらっしゃいますね。
羽原：そうです。「ひだまり」で出会ったお母さんたちとは、今でも友達付き合いが続いています。子育ての悩みを相談できる相手がいなかった時期に出会った方々で、共感できることが多かったです。
市長：雰囲気が良い場所ですね。
羽原：そうですね。赤ちゃん教室や運動教室など、年齢に応じた活動も充実していて、私もいろいろ楽しみました。
市長：羽原さんが思う泉南市の魅力って何ですか？



いるので、「先生と英語で話してみたら？」と勧めています。英会話に行かなくても英語で先生とお話できる環境はないよって。
市長：近すぎて、照れくさいのかな？
羽原：みんなの前で話すのが恥ずかしいのかも。でも本当に先生たちも子どもたちと仲が良かったです。卒業生がお店で先生と再会して英語で話す場面もあり、ほっこりしますね。
市長：その関係が続いているのはいいですね。
羽原：子どもたちにとって身近な存在になってます。
市長：お子さんは海外経験がありますか？
羽原：ハワイやアメリカ、中国に行ったことがあります。そこでの経験がきっかけで航空業界に興味を持つようになりました。
市長：そういう夢を持てる子どもが増えるような街づくりを目指したいですね。



羽原：自然が豊かで、山や海、藤やバラ、あじさいなど、子どもたちを連れて行ける場所がたくさんあります。ロングパークもお気に入りです。スポーツができる施設もあり、そこで新しいつながりが生まれるのが素敵です。
市長：ロングパークのビーチは財産ですね。
羽原：そう思います。とてもいい場所ですよ。お客様も、特にワンちゃん連れの方がお散歩でよく利用されています。
市長：思い悩んだ時はロングパークに行って海を眺めます。気持ちがリセットされるんですよ。
羽原：私もです。うまくいかない時は、スタバに寄って海を見て元気をもらいます。
市長：同じですね（笑）。海を見ると「自分はちっぽけだな」と思えて、気が楽になります。
羽原：沈む夕日が本当に素晴らしいので、ぜひ多くの方に見てもらいたいです。

自信を持って誇れる街に

市長：泉南市でお店をやろうと思ったのは？
羽原：泉南市を選んだのは家が近いこともありますが創業塾や空き店舗支援など、泉南市のサポートがあったのが大きかったです。教わったことを実践して、少しずつ形にしていきました。
市長：今では泉南市を代表するコーヒー屋さんですね。
羽原：皆さんに支えていただいているおかげです。
市長：お店主催で認知症の方を支援するイベントもされていますよね？
羽原：オレンジカフェですね。認知症について学びなが

ら関わりを持てるのはとても貴重です。他の市の方からも「泉南は進んでいる」と言われます。
市長：身の回りの高齢者がそうなった時のためにも、知っておくことは大切ですね。
羽原：知っているかどうかで全然違うと思います。他にも季節ごとのイベントも大切にされていて、クリスマスや節分など、子どもたちも楽しめる企画を取り入れています。
市長：野田藤をモチーフにしたドーナツも作られていますよね。
羽原：そうですね。泉南に根ざしたお店として、地域の皆さんともしっかりと関わりを深めていきたいですね。
市長：泉南市をこれからもっと魅力的にするために、何か考えていることはありますか？
羽原：泉南市の魅力をどう発信していくかを常に考えていますが、お店を通じて地域の良さを伝えるだけでなく、地域全体で一体感を作り出していきたいです。小さな取り組みが積み重なれば、大きな変化につながると思っています。
市長：市としても、事業者の皆さんがつながりやすい環境づくりや、取り組みを後押しできる仕組みをもっと整えていきたいですね。
羽原：市の協力があると嬉しいです。
市長：泉南市は山と海に囲まれた自然豊かな場所でありながら、関西国際空港にも近くアクセスにも恵ま



熊野街道信達宿 梶本家の野田藤

子育て支援センター「ひだまり」

〒590-0521 泉南市樽井1丁目8-47（あびあ泉南内）

子どもを育てることは楽しいけれど、困ったり悩んだりする事も多いものです。子育て支援センターでは、育児相談のほか、親子での遊びや交流などを通じていろいろなお手伝いを行います。

『ひだまりルーム』

『なないろルーム』

『ひなたぼっこ』

0歳児が対象のころころルームやよちよちルーム、1歳児が対象のぴょんぴょんルーム、2歳児が対象のらんらんルームなど対象年齢に合わせた子どもと保護者の遊びと交流広場も開催しています。また「ひだまり」の他、泉南市では子育て家庭の育児について、相談や遊び場の提供等、地域の保育事情に応じた子育て家庭に対する育児支援事業を市内3カ所で行っています。

詳しくはこちら

れている。この魅力を地域全体で発信し、多くの方に訪れていただけるような街を目指したいです。そして何より、市民の皆さんが自信をもって誇れる街にしたいと思っています。
羽原：そうですね。子育て世代にとっても暮らしやすい街だと思います。これからもっと子育て世代が増えて、地域全体が活気づくような泉南市を目指していきたいですね。

羽原さんのおすすめを詳しく紹介します！

JETプログラム

JETプログラムとは、外国青年を招致して外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。

外国語指導助手（ALT）が全小中学校にいます。

市内の全ての小中学校にALTがいて、ネイティブスピーカーが英語や外国語の授業を行っています。毎日学校にいますので、他教科や休憩時間、学校行事でもALTと交流ができます。

国際交流員（CIR）が国際交流活動をしています。

市内の幼稚園・こども園・小中学校等に行き、様々な国の文化や遊びを体験的に学んだり、外国語のあいさつや歌を楽しむ活動や大人向けの講座もしています。

ひだまり利用のママさんに聞く 泉南市のおすすめ

子育て支援施設「ひだまり」

- ・保育士が常駐し、親子で安心して過ごせる。
- ・制作活動や年齢別広場など多彩なプログラムが充実。
- ・とにかく楽！友達もたくさんできた。

海と山に囲まれた自然豊かな環境

- ・家族で楽しめる自然がいっぱい。
- ・子どもがのびのびと遊べる場所が豊富。

SENNAN LITTLE PARK（りるぱ）

- ・大型遊具が充実していて、土日や夕方も利用可能。
- ・室内で天候を気にせず遊べる。

他にもこんなご意見をいただきました！

- ・ 関西国際空港が近く、交通のアクセスが良い。
- ・ 育児に困った際にサポートが受けられる。
- ・ スーパーや商業施設が多く、買い物しやすい環境。
- ・ 保育園の第二子無償化や同じ病院も4回通院すると無料になるなど経済的負担軽減に役立つ制度がある。
- ・ 園庭開放や各地域子育て支援センター、埋蔵文化財センターなど多様な施設が利用できる。
- ・ 近くに知り合いがいなくて毎日不安だったが、子育て講座や支援センターが近くにあったことで、ママ友もできて気分が晴れた。